

市議会だより

大月市

平成27年5月29日発行 No.138

特集

病院長
×
市議会

議員定数を削減
15名→14名



CONTENTS

- ・特集
(中央病院と地域医療について語る) P. 2～
- ・平成27年第1回市議会定例会
(主な議案の内容) …………… P. 4～
- ・予算審査特別委員会 …………… P. 6～
- ・議決結果一覧表 …………… P. 8～
- ・代表質問・一般質問 …………… P.10～
- ・視察研修報告 …………… P.15
- ・議会日誌 …………… P.16

健診センター (中央病院)

特集

中央病院と地域医療 について語る

大月市立中央病院 進藤廣成院長 × 大月市議会

大月市立中央病院の進藤院長を招き、病院再生、病院経営の健全化に向けた決意と覚悟をお聞きし、意見交換を開催しました。

が、一年の評価をしてボーナスで差をつけて医師が意欲的に働くように工夫しています。赤字が大きい現状では難しいでしょうが、できればそういった検討をしていただきたいと思っています。

Q 地域の開業医との連携は？

・内科の常勤医の増員や整形外科の常勤医を2名にして、手術や入院を更に積極的に受け入れる体制を整え、一方で外来診療は開業医の先生方をお願いするような医療連携を推進したいと思っています。

Q 経営の健全化にむけた対策は？

・DPC（包括医療費支払い制度）を導入すべきと考えています。

・三重県松阪市民病院では、DPCを導入することによって、入院患者の単価が33、600円から50、000円にまでアップしたという事例もあります。

・中央病院では午前中に30人診るのが限度ですが、ドクターズクラークを増やし、これまでドクターが行っていた診断書や処方せんを作成、検査の予約などを行ってもらうことでドクターの仕事量を減らすことが出来れば午前中に50人診ることも可能になります。また、待ち時間の短縮にもなりますし、経費的にもメリットがあります。

・電子カルテ化をすることによってドクター毎の医療報酬等、様々なデータがでますので、医師一人が一日の収入の目標を設定して単価を上げていくことが可能になります。ですから、働く医師とそうでない医師が明確になりますので、働いた医師には報酬を上げることが検討すべきだと思えます。

・松阪市民病院は、公立病院です



Q 健診の受診率を上げるべきだと思いますが？

・大月市は住民健診の受診率が約30%、都留市は45%ですので、相当低いです。受診率を上げるために健診の予約をやりたいためです。普通の病院であれば外来に来て、採血して、次の日に予約を取り、その後、結果を聞くという2度手間になります、それを1回で出来るように予約制度は大事だと思います。

Q 新しい病院が出来て職員の意識に変化はありますか？

・東京女子医大の教えは、「医療はサービスである」でありますので、患者さんに対してそのように接しているつもりです。

・職員の中にはそれが守れていな

い者も見受けられます。建物はきれいになったが中身は変わっていないといわれないように、あらゆる機会を通じて職員の意識改革を図っていきたいと思います。

職員の意識改革をしない限り、この危機的状況を脱することはできないと思います。

進藤院長との今回の対話を踏まえて我々も指摘するだけではなく、危機的状況を脱して今後、明るい兆しが見えるように議会としても協力できることは、惜しまず協力していきたいと思えます。

大月市議会第1回定例会

こんな事が決まりました。

2月27日～3月20日 (22日間)



今定例会の議案

市長提出

- ・ 条例案件……………26件
 - ・ 当初予算案件……………9件
 - ・ 補正予算案件……………9件
 - ・ その他案件……………4件
 - ・ 人事案件……………1件
- 議会提出
- ・ 条例案件……………2件

主な議案の内容

条例

◎大月市立学校設置条例の一部を改正する

大月西小学校、
強瀬小学校、富
浜中学校が閉校
します

平成28年4月から大月西小学校と強瀬小学校を閉校し、大月東小学校と統合します。

富浜中学校を閉校し、猿橋中学校と統合します。

◎大月市議会議員定数条例の一部を改正する

大月市議会議員
定数を14名に削
減します

現在の大月市議会議員定数

数15名を平成27年7月執行の大月市議会議員一般選挙から14名に削減します。

予算(補正)

◎平成26年度 大月市一般会計補正予算(第9号)

プレミアム商品
券を発行します

6月中旬頃、市内商店で利用できるプレミアム商品券12、000円券13、000セット(1、000円×12枚)を一般に10、000円で販売、18歳未満の子供のいる家庭には9、000円で4、000セット販売します。

その他

◎大月市外二村ことばの教室設置協議会規約の一部を変更する

ことばの教室と
情緒・発達障害
通級教室を統合
します

平成27年4月から1市2村で設置している「ことばの教室」と大月市が設置している「情緒・発達障害通級教室」を統合し、ことばと情緒・発達の両面から指導支援できる通級教室とします。

委員会審査の
様子

◆総務産業常任委員会

Q 東部地域広域水道企業団と地区簡水を市内一律の利用料金と工事費に統一すれば良いと思えますが、どの様に考えているのか。

A 基本的には、同一料金、同一サービスというこ

とを原則として、今後、その方向に向かって簡易水道の経営を改めて行くという考え方でおります。しかし、企業団と地区簡水の料金格差が相当あります。2年、3年掛けて激変緩和措置をとりながら、徐々に近づけていく必要があると考えています。

Q 利用料金を上げたとしても、必ず節水状態になって、思ったような増収にならない事が予想されるが、持続していく為に必要な対策は

A 企業団の方が基本料金を上げていく方向で進めて来ると思います。経営規模の小さい簡水では施設の老朽化に伴って改修工事が出来なくなる事が予測されますので、各7簡水の経営を全て統合し、改修工事にも優先順位をつけ悪い施設から改修をしていく事が必要だと思います。最終的に企業団と若干の差が出る可能性がありますが、同一サービスを原則に

考えていく必要があると考えております。

◆社会文教常任委員会

Q シルバーお出かけパス交付事業が473万円余った理由は何か。また、27年度の予算は減額して計上しているのか。

A 1、500人ぐらいの利用者を見込んだところ、1、300人ほどの申込みがありましたので、その差額ということですが、新年度は、この下がった金額の予算で計上しております。

※シルバーお出かけパス利用者をもっと増やしていくべきと思うので減る原因を調査し増やす努力をしてほしい。

Q 通学路について要望があるようだが、理解は得られたと考えているのか。

A

昨年5月より数回にわたり説明会を行い、その間も様々なご指摘をいただきましたが、概ね理解を得たと考えております。

通学路等の件については、説明をしつかりさせていただき、できるだけ近いバス停にという案で、各学校、保護者で選定をしていただきたいと話まして、27年度の早いうちには決めたいと思っております。

Q

小中一貫校を導入すべきであると思うが検討はしたことがあるか。

A

事例をみますと、授業ですの移動するのにあまり時間がかからない近距離の場合がおもなものようです。今まで深く突っ込んだ検討はしておりませんが今後、対応を検討してみたいと思います。

議員定数削減について

賛成討論

議会の議論の多くは委員数が8名と7名である2常任委員会で行われています。議論している内容が違うので一概に言えませんが、7名だから議論が深まらないという事は無く、7名でも議員の質によって議論が深まっているのではないかと考えています。

本当に必要な事は、議員の質を高める事であり、そのためには議員定数を削減し、選挙という議会への入り口のハードルを高くする事が有効に働くと思います。

反対討論

地方政治でも監視役は欠かせません。メディアはもちろんです。市議会の役割は大きい。主権者は市長を選び、市議会議員を選ぶことができます。市議会は市長をリーダーとする行政が暴走しないようにチェックをします。これが二元代表制です。市議会にはチェック機能とともに、住民の声を反映する機能があり、多様な意見と民意が反映できるだけの議員定数が必要だと思います。

市名	議員定数
甲府市	32名
富士吉田市	20名
都留市	16名
大月市	※14名
韮崎市	18名
南アルプス市	22名
甲斐市	22名
笛吹市	21名
北杜市	22名
上野原市	16名
山梨市	18名
甲州市	18名
中央市	18名

※次期改選時(7月)より

平成27年度当初予算を可決！



委員長
小泉 二三雄



副委員長
山田 善一

平成27年度予算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

人口減少は市税等独自の財源にも大きな影響を及ぼし、本市にとって財源確保のための対策は切り離すことのできない喫緊の課題であります。

まず、税収確保する上では、新たな発想のもと税収増に繋げるための調査、企画、研究など担当課にとどまらず、全庁的な対応に努めること。また、処分可能となる市有財産等に対しては、年度ごとの高い目標を定めた売却計画等作成し、積極的に土地等売却し財源の確保に努められたい。

次に、移住定住への対策であります。早急に対応が図れる定住促進施策として、住宅建設者への助成や賃貸住宅を借りる者への家賃を助成するとしているが、若年人口の減少への歯止めには、大胆な施策を講じる必要がある。定住化促進に向け、新婚者向け住宅及び、子育て世帯向け住宅の早期建設、或いは、既設住宅の早期大改修への対策を強く望む。

次に、子育てにおいて、共稼ぎ世帯が増加する中、これまでの学童保育への対応は一定の評価をするものの、学童保育所の建設に当たっては、大月東小学校に近接する「八重桜Ⅰ・Ⅱ」同様、安全で安心して保育のできる環境を整え、保育すべきとの観点に立ち、市が施設建設を

担うなど、民間主導でなく、従前に増し市の積極的関与を望む。

2点目でありませんが、新病棟の建設と既存棟とを一体的に整備し、地域の中核病院として高度・専門的医療を導入した、地域完結型の救急医療病院として診療しております大月市立中央病院であります。数年来赤字経営が続いている中、院長から病院経営健全化に向けた取り組みの3つの柱が示されました。一方、本市の厳しい財政状況の下では、病院経営の健全化なくして、市の財政健全化は図れないのも事実であります。

医療を取り巻く環境は厳しい状況であることは承知しておりますが、本市の置かれている実情を思慮して頂き、病院再生への道は、多難ではありますが、新病棟等の竣工を契機に、院長を先頭に、医師、事務職員、看護師等病院スタッフが一体となり健全化に取り組み、赤字から脱却した病院を目指し、更なる努力をしてもらいたい。



予算の流れと議会の役割

市民の代表として市議会は、市民生活にかかわる予算を審査し決定します。予算編成は各年度の財政計画を立てて市長が行い、市議会によって決定されます。決定された予算に基づいて財政が運用され、執行の結果をまとめ市議会が決算審査を行います。市議会と市長は、独立した立場で相互にけん制し、均衡を保ちながら「住みよい、大月市」を実現するため努力しています。

主な予算の使い道が決まりました



【事業名】こうのとりの支援事業
(不妊治療費助成事業)

【事業費】450万円

【内容】不妊治療費補助金の助成対象を一般不妊治療及び特定不妊治療(体外受精や顕微授精)に拡大し、保険適用治療費に加え、保険適用外も対象とする。



大月東小校舎等完成予定図

【事業名】大月東小学校校舎・体育館建設事業

【事業費】10億1645万1千円

【内容】学校適正化により中核校となる大月東小学校校舎・体育館の耐震化を図るため、事業を実施する。(工期：26～27年度 総事業費14.6億円)



交流事業の様子

【事業名】小・中学校統合
関係経費

【事業費】2375万8千円

【内容】小・中学校適正配置計画に基づき実施する小・中学校統合に係る経費(28年4月統合予定校：大月西小・強瀬小・大月東小：富浜中・猿橋中)



大月都留広域事務組合

【事業名】大月都留広域事務組合負担金

【事業費】6億8112万6千円

【内容】ごみ処理・し尿処理施設の維持管理及び施設周辺整備等に係る負担金



桂川清流センター

【事業名】下水道特別会計繰出金

【事業費】3億9074万7千円

【内容】桂川流域関連大月市公共下水道計画に基づき、市民の快適な生活環境の創出と河川の水質保全を目的として、下水道施設の整備を行う。



東部地域広域水道企業団

【事業名】東部地域広域水道企業団関係事業

【事業費】1億9233万8千円

【内容】東部地域広域水道企業団の施設維持管理及び運営等に係る補助・負担金



仁科新館長

【事業名】新館長による図書館機能充実事業

【事業費】296万円

【内容】図書館の機能をフル活用し、市内の子供たちの豊かな感性を育むとともに、文化・芸術活動と触れ合う機会の提供等様々な企画イベントを開催する。



大月短期大学

【事業名】短大施設整備事業
(短期大学新校舎建設事業)

【事業費】1億5722万5千円

【内容】短大施設耐震化のため、事務局、図書館、講義棟の機能を有した新校舎の建設工事を行う。(工事期間：H27～H29 総事業費：13.2億円)



小佐野橋水路橋

【事業名】普通河川改修事業

【事業費】3000万円

【内容】普通河川の機能及び安全の確保に努める。(下真木川「小佐野橋水路橋」の撤去)

議決結果等一覧表 (賛成○ 反対● 欠席=欠)

※小原文司議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	天野	大石	相馬	奥脇	後藤	古見	小泉	西室	山田	鈴木	小林	藤本	結 果
			祐治	源廣	保政	一夫	慶家	金弥	三雄	衛	善一	章司	信保	実	
条例	第1号	教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例制定の件													
	第2号	教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定の件													
	第3号	大月市地域包括支援センターの包括的支援事業の人員等に関する基準を定める条例制定の件													
	第4号	大月市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定の件													
	第5号	大月市保育料条例制定の件													
	第6号	大月市行政手続条例中改正の件													
	第7号	大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件													
	第8号	大月市職員給与条例中改正の件													
	第9号	大月市職員退職手当支給条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
	第10号	大月市特別職報酬等審議会条例中改正の件													
	第11号	大月市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例中改正の件													
	第12号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例廃止の件													
	第13号	大月市職員の旅費に関する条例中改正の件													
	第14号	大月市外1市2村指導主事の旅費に関する条例中改正の件								欠					
	第15号	大月市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件													
	第16号	大月市教育委員会組織条例中改正の件													
	第17号	大月市税条例中改正の件													
	第18号	大月市職員定数条例中改正の件													
	第19号	大月市立学校設置条例中改正の件	○	○	○	●	○	○			○	○	○	○	●
	第20号	大月市保育の実施に関する条例廃止の件	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	第21号	大月市立保育所条例中改正の件													
	第22号	大月市介護保険条例中改正の件	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	●
	第23号	大月市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例中改正の件	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	第24号	大月市営住宅条例中改正の件													
	第25号	大月市下水道条例中改正の件													
第26号	大月市簡易水道事業給水条例中改正の件	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	●	
第50号	大月市議会委員会条例中改正の件	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
第51号	大月市議会議員定数条例中改正の件	○	○	○	●	○	○			○	○	○	○	●	

原案可決

平成27年3月定例会

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	天野	大石	相馬	奥脇	後藤	古見	小泉	西室	山田	鈴木	小林	藤本	結 果
			祐治	源廣	保政	一夫	慶家	金弥	三雄	衛	善一	章司	信保	実	
当初 予算	第27号	平成27年度大月市一般会計予算	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	原案 可決
	第28号	平成27年度大月市大月短期大学特別会計予算													
	第29号	平成27年度大月市国民健康保険特別会計予算													
	第30号	平成27年度大月市簡易水道特別会計予算													
	第31号	平成27年度大月市下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	第32号	平成27年度大月市介護保険特別会計予算													
	第33号	平成27年度大月市介護サービス特別会計予算													
	第34号	平成27年度大月市後期高齢者医療特別会計予算													
	第35号	平成27年度大月市病院事業会計予算													
補正 予算	第36号	平成26年度大月市一般会計補正予算(第8号)													原案 可決
	第37号	平成26年度大月市大月短期大学特別会計補正予算(第3号)													
	第38号	平成26年度大月市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)													
	第39号	平成26年度大月市簡易水道特別会計補正予算(第3号)													
	第40号	平成26年度大月市下水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第41号	平成26年度大月市介護保険特別会計補正予算(第4号)													
	第42号	平成26年度大月市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)													
	第43号	平成26年度大月市病院事業会計補正予算(第2号)													
第48号	平成26年度大月市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○		
その他	第44号	都留市・大月市・上野原市消防指令事務協議会規約の変更の件													原案 可決
	第45号	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	第46号	大月市外1市2村指導主事共同設置規約の変更の件													
	第47号	大月市外二村ことばの教室設置協議会規約の変更の件													
人事	第49号	大月市固定資産評価員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	同意	



市政を問う

3月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、4名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 西室 衛議員 (清風会&公明) 11 ページ

- ①特急の増発は都心通勤者の定住化が図れるが、その取り組みへの考えは

(2) 山田善一議員 (NEW・OTSUKI) 12 ページ

- ①人口減少に対する重点施策とその検証は
- ②病院経営の今後の見通しは

(3) 藤本 実議員 (日本共産党) 13 ページ

- ①国保税の引き下げを検討すべき
- ②本市再生へのビジョンは

● 一般質問

(4) 小林信保議員 14 ページ

- ①病院経営指標比較表の作成及び活用法は
- ②市長と職員の話は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（5月下旬発行予定）を図書館及び市のホームページ (<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>) で閲覧することができます。

代表質問



清風会 & 公明
西室 衛

Q 特急の増発は都心通勤者の定住化が図れるが、その取り組みへの考えは

A 本市への活性化対策につながる大変重要な要素であると認識している

問 新幹線通勤も実現する現在、朝6時・7時台

の特急の増発は、通勤者の定住化が図れると考えるが、その取り組みへの考えは。

答 市長

これまで本市では都心への通勤者の利便性の向上を図るため、山梨、長野両県を初めといたします50の沿線市町村と40の関係団体で構成されており中央

東線高速化促進広域期成同盟会を通じて、JR東日本へ通勤時間帯における電車の増発や携帯電話の不感地域の解消などを要望し中央本線の利便性の向上が図られてまいりました。

また、早朝時間帯の特急電車の新設につきましても、この期成同盟会を通じて強く要望活動を続けております。

しかしながら、特急電車が停車する大月駅からは都心へ通勤される多くの市民のため、市が積極的にJR東日本に働きかけることは本市への活性化対策につながる大変重要な要素であると認識をしております。

JR東日本でも2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催までに東京駅から大月駅間を走る全ての中央快速に2階建てのグリーン車の導入を計画していると八王子支社から直接話を聞いております。山梨県東部に位置し、首都圏への通勤圏でもある本市といたしましては、人口

減少対策の定住促進につながることから、大月駅北口整備、観光面での利用者の増加も含め、市として独自の協議を進めるとともに、山梨県を初めといたします関係機関と連携の上、引き続きJR東日本に対しまして積極的に中央線の利便性の向上に向けた活動を行います。



JR 大月駅

その他の質問

問 地域活性化へ向けての取り組みについて

賑いを図るため、大月駅北口開発に商業施設が必要ではないのか。

問 大月バイパス工事等の残土活用による、大月市の取り組みは。

問 市内の木材の有効利用は、林業発展へと繋がるのではないのか。

問 歴史ある織物業の活性化策は。

問 来年度プレミアム商品券が発行予定だが、その活性化策は。

問 川崎市の少年事件を受け、教育委員会の対応について

問 未来を担う青少年育成への取り組みと命の大切さに対する指導の取り組みは。



NEW・OTSUKI

山田 善一

Q 病院経営の今後の見通し は

A 数値目標を定め、管理体 制を強化していく

Q 人口減少に対する重点施 策とその検証は

A 子育て支援の充実を図る

援手当の支給などを進めてまいりました。

また、平成25年度には高齢者、年少者の人口推計などをもとに、高齢者在宅支援推進事業や子育て支援手当支給事業などの各種の施策の検証を実施した上で、

子育て予算へ配分をシフトした予算編成といたしております。

平成27年度予算では、中学生までの医療費の窓口無料化、子育て病児・病後児保育事業、産前産後ケアセンターの利用者とファミリーサポート制度の利用者への助成や、子ども家庭総合支援センターの運営など、子育て支援の充実を図っております。

問 赤字の補填額が減少せず、財調も5億円を切るどころまで来ているが、今後の見通しは。

答 病院事務局長 具体的な数値目標を定める必要があることから、院内の管理職で構成する企画会議において数値目標を定めた市立中央病院経営健全化計画を作成し、かつ共有し、その進捗状況を毎月市長に報告するなど、管理体制も強化していきたいと考えております。

将来的には抜本的な組織機構、診療体制の見直しも必要と考えますが、まずは

病院事業収益の根幹をなす医事担当に診療情報管理士などの資格を有する職員を配置し、専門職化するとともに、診療報酬の請求事務を自前で行うなど、経営基盤の強化を図り、さらに、本市の実情に合わせ、市内の病院や診療所の先生方との病診連携を強化し、訪問看護などについても研究し、市民から信頼され、地域で完結する病院を目指します。

問 人口減少が明白になってから市はどのような施策に重点を置き、成果の検証をしてきたか。

したところが本市の人口減少の進み始めた時期だと考えております。

答 総務部長 人口減が明白になった時期は、バブル経済が崩壊し、その後の平成8年ごろから就職氷河期に入り、東京への生産年齢層の転出が増加

本市ではその当時から暮らしやすいまちづくりを目的し、高齢者福祉の充実のために総合福祉センターを整備し、文化、教育の充実の場としての図書館の整備、子育て対策では学童保育、市内の保育所、幼稚園での延長保育の実施や子育て支

代表質問



日本共産党
藤本 実

Q 国保税の引き下げを検討すべき

A 現段階では非常に難しい

問 私ども独自に「くらしと政治に関するアンケート」に取り組んでいるが、どれも暮らしの大変さや今後の不安を訴える内容だ。国民健康保険税について、全国には京都市など国の保険者支援金を財源に保険料の引き下げを発表している自治体がある。

大月市でも引き下げを検討すべきだ。

答 市民生活部長

国は平成27年度から低所得者対策の強化のため、自治体への財政支援約1、700億円を拡充する予算措置を講ずるとしている。しかしながら、本市にどの程

度反映されるのか明確になつておらず、現在の本市の国民健康保険特別会計も非常に厳しい運営状況となつていることから、現段階では国民健康保険税の引き下げをすることは非常に難しいものと考えている。

2015年度国保税(料)引き下げ予定自治体

- ・北海道函館市、旭川市
- ・神奈川県横浜市・静岡県静岡市
- ・京都府京都市・大阪府堺市
- ・福岡県北九州市

【藤本調べ(一次)】

Q 本市再生へのビジョンは

A 癒しのまちづくりを目指す

問

私もこれまで水源地の自治体としての立地条件を生かすことや、健康長寿の土地柄を生かした安心して住み続けられるまちづくりなど、将来像にかかわる提起をしてきたが、自治体間に将来ビジョンを競う論理対抗戦の状況が生まれている。石井市長の本市再生への将来ビジョンを確信を持って打ち出していくときだ。

議会の設立を提案し、承認をされました。

上流圏構想の中、本市の将来ビジョンとしては、自然資源を活用した「癒しのまちづくり」を目指し、自然環境に優しい企業の誘致、観光と地場産業の振興を図り「富士山の眺めが日本一美しいまち」を広くPRし、都心からの人々を呼び込む施策を展開して、人口減少に歯どめをかけてまいりたいと考えている。

答 市長

自然環境を活用した環境圏づくりは、2月20日に富士北麓東部地域の関係市町村長と山梨県に広域的な協



小林 信保

Q 病院経営指標比較表の作成及び活用法は

A 医師、看護師や職員、中央病院運営委員会に示し健全化に向け活用する

問 厚生労働省が示した病院の経営指標と中央病院の比較ができる一覧表をどの様に活用していくのか。

答 医事管理課長

経営指標をもとに客観的

な数字を把握しながら病院経営を行うことは経営という観点から非常に重要なことと考えております。平成26年度の決算が確定したところで経営指標を作成し、院内の医師、看護師、事務職などに示し、経営状況の共有を図ると

もに、大月市立中央病院運営委員会の委員の方々にも提示して、病院経営の健全化に活用してまいります。

Q 市長と職員の対話は

A 職員の提案を前提に議論し方向性を定める

問 職員の能力を最大限に発揮してもらうために何をすべきであるか。

答 総務部長

石井市長は就任以来、職員が持てる能力を最大限発揮し、やる気、やりがいを持つて業務に専念できるように、各種研修会への参加や独自研修会を実施するとともに、職員提案制度に取り組んでまいりました。さらなる職員の意識改革を図るため、職員が希望する部署へ配置するなど、適

材適所の人事配置に努めております。

また、市長室で行う事務打ち合わせは、市長と管理職員だけでなく、多くの担当職員と十分協議を重ねております。

今後も引き続き職員研修を初め市長と職員の意見交換をする場をできる限り設け、ともに知恵を出し合いながら、市民の声をよく聞き、市民目線に立った行政サービスの提供ができるよう、職員個々の能力向上と組織力強化を図ってまいります。

再質問

問 市長室での対話はどのようにされているか。

答 市長

まず市長室での対話はトップダウンではなくて、ボトムアップで、職員が提案をするということが大前提で、その提案に対して職員間の議論をしながら方向性を定めていくということでもあります。そして「何かあつて必要とあらば、私が全て責任をとるぞ」と、こういうことだと思えます。

視察研修報告

会派及び議員個人が先進地への視察研修を行い、行政に対し提案をしています。

◆平成26年4月12日～13日

- ◎岩手県一関市
- ・一関市と平泉の観光への取り組みについて

◇参加議員
小原文司

◆平成26年7月16日～18日

- ◎滋賀県大津市（全国市町村国際文化研修所）
- ・市町村議会議員研修（自治体決算の基本と実践（行政評価を活用した決算審査））

◆平成26年4月21日～22日

- ◎滋賀県大津市（全国市町村国際文化研修所）
- ◎京都府京都市会
- ・地方議会のネクストステージを議論する研修会

◇参加議員
小林信保

◆平成26年7月15日～17日

- ◎滋賀県大津市
- ・議会BCP（業務継続計画）策定への取り組みについて
- ◎滋賀県近江八幡市
- ・八幡伝統的建造物群保存地区視察

◎滋賀県彦根市

- ・彦根城世界遺産登録への取り組みについて
- ◎滋賀県長浜市
- ・長浜市の黒壁事業への取り組みについて

◎京都府京都市

- ・ユネスコ無形文化遺産山鉾行事視察

◇参加議員

後藤慶家
古見金弥
西室衛
（清風会&公明）
天野祐治

◆平成26年11月11日～13日

- ◎高知県佐川町・四万十町
- ・自伐型林業の施策について
- ・四万十町の町民起業を含めた地域づくりと移住、定住対策について

◆平成26年9月1日

- ◎東京都千代田区有楽町
- ・やまなし暮らし支援センターの取り組みについて
- ◎千葉県松戸市（千葉西総合病院）
- ・病院待合番号表示システムについて

◆平成26年7月23日

- ◎山梨県山梨市
- ・空き家バンクへの取り組みについて

◇参加議員

山田政文
小林信保
（スマイル）
藤本実
（日本共産党）

◆平成27年3月27日

- ◎東京都千代田区
- ・文部科学省における地方創生の取り組み
- ・地方創生を考える中小企業経営者の考える地域振興
- ・地方創生を考える

◆平成27年2月24日

- ◎東京都千代田区
- ・持続的経済成長に向けた日本の課題

◇参加議員

西室衛

事務局長紹介

4月1日付、人事異動により議会事務局長の異動がありましたので報告します。藤本直樹氏が議会事務局長に就任し、前事務局長の小林和人氏は退職いたしました。

議会日誌

3月

2日	臨時全員協議会
3日	平成27年第1回東部地域広域水道企業団議会定例会
4日	総務産業常任委員会
5日	社会文教常任委員会
9日	代表質問・一般質問
11日	予算審査特別委員会
12日	予算審査特別委員会
13日	予算審査特別委員会
	臨時全員協議会
16日	総務産業常任委員会
17日	社会文教常任委員会
20日	議会運営委員会
	全員協議会
	平成27年第1回市議会定例会閉会

4月

14日	山梨県市議会議長会第253回定期総会
21日	議員定例懇談会

5月

8日	市議会だより編集委員会
13日	議会運営委員会

政治家の寄附は禁止 有権者の寄附要求も禁止 贈らない！ 求めない！ 受け取らない！

- 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入
- お祭りへの寄附や差入
- 病気見舞い
- 葬式の花輪・供花
- 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
- 落成式・開店祝の花輪
- 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い
- 町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入
- 入学祝・卒業祝
- お中元やお歳暮

あなたも本会議を傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

6月定例会の日程(予定)

(開会日)	5月 20日
(代表質問・ 一般質問)	6月 2日
(閉会日)	6月 5日

※定例会前の議会運営委員会で正式に決定されますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

中央病院の進藤院長と議会の対話は、率直な意見交換が行われました。その中で医療費削減と中央病院の経営改善に対し効果が見込める健康診断の受診率アップの必要性を感じましたので表紙は健診センター内の写真を選択しました。

Editorial note

編集・発行

市議会だより編集委員会(大月市議会事務局内)
大月市議会事務局
 〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
 TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
 E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会だより
編集委員会

委員長	小林 信保
副委員長	藤本 実
委員	古見 金弥
委員	西室 衛
委員	鈴木 章司



この市議会だよりは、資源保護のため再生紙を、環境保護のため大豆油インクを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。